

兵庫津の道

兵庫七福神を訪ねて

MAP



兵庫七福神スタンプラリー

★は日本遺産認定の関連史跡があります。

コース付近のみどころ

清盛塚・琵琶塚 MAP ①

「清盛塚」と呼ばれる石造十三重塔は、弘安9年(1286)に建てられた供養塔で、昭和50年(1975)に兵庫県の重要文化財に指定されています。この塔の下には平清盛の遺骨が納められているという説がありますが、大正12年(1923)、市電道路の拡幅工事のため「琵琶塚」のある現在地へ移転された際に行われた発掘調査で、清盛の墓ではないことが明らかになりました。「琵琶塚」は、平家物語にも登場する琵琶の名人・平経正が琵琶とともに埋葬されたという伝承から、「琵琶塚」とよばれています。また、傍らには昭和43年(1968)に建てられた平清盛像もあります。



柳原惣門跡の碑 MAP ②

柳原惣門は、西国街道から兵庫の町へ出入する西の玄関口でした。近年の発掘調査で、元禄9年(1696)に作成された絵図とほぼ一致する場所から惣門の跡が発見されています。また惣門に入って直ぐの場所にある柳原蛭子神社の脇には明治維新まで高札を掲げる札場がありました。



兵庫城跡 MAP ③

天正8年(1580)に池田恒興が花隈城を落城させ、翌年その石垣などで築いたのが兵庫城です。恒興は兵庫城を中心に城下町を整備し、町の周囲を土塁と堀で囲いました。江戸時代には支配の変遷に伴って、尼崎藩の陣屋、大坂町奉行所の兵庫勘番所が、明治初年には最初の兵庫県庁がこの地に置かれています。



周辺情報

◆ 新開地 ◆

「新開地」は明治38年(1905)に旧湊川の付替えにより生まれ、平成17年(2005)に100年を迎えました。瞬間に芝居小屋や活動写真小屋などが建ち並び、大正2年(1912)には東京の帝国劇場を模した「聚楽館」が建設され、神戸の文化の中心となりました。その後も数多くの映画館が開館し、「東の浅草、西の新開地」と称されて大変にぎわいました。映画評論家として活躍した淀川長治氏はこの地をこよなく愛し、また昭和11年(1936)には喜劇王チャールズ・チャップリンも訪れています。現在でも、新開地商店街やその周辺には個性的なお店や映画館、神戸で唯一の大衆演劇の劇場などがあり、三宮や元町とは一味違う「B面の神戸」としての魅力が発信しています。まちには帽子をかぶった男をモチーフにしたシンボルゲート「BIGMAN」や「新開地アートひろば(旧神戸アートビレッジセンター)」などが建てられ、平成30年7月には、屋上は上方落語の定席があり、幅広く楽しむことができる演芸場「神戸新開地・喜楽館」がオープンしました。「兵庫津の道」を歩いた後は食事やショッピング、観劇や映画鑑賞などに足をのばしてみたいいかがでしょうか。【JR「神戸駅」から徒歩約10分、神戸高速線「新開地駅」下車すぐ】



- わだじんじゃ **A 和田神社** 【弁財天】
- やくせんじ **B 薬仙寺** 【寿老人】
- しんこうじ **C 真光寺** 【福祿寿】
- のうふくじ **D 能福寺** 【毘沙門天】
- やなぎわらてんじんじゃ **E 柳原天神社** 【布袋】
- やなぎわらひるこじんじゃ **F 柳原蛭子神社** 【蛭子】
- ふかいじ **G 福海寺** 【大黒天】

